



nite

News Release

2025年9月25日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所

脱・取説キャンセル界限 ～「電子レンジ」や「IHこんろ」等の調理家電の事故を防ぐポイント～

1. 事故の発生状況

2020年から2024年までの5年間にNITEに通知のあった製品事故情報※1のうち、九州・沖縄8県で調理家電による事故は合計37件ありました。

(1) 県別および年別事故発生件数（表1）

表1 調理家電の県別および年別事故発生件数（2020～2024年）（単位：件）

事故発生年	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2020年	1		2	1		1	1	1	7
（内数）火災	(1)		(2)	(1)		(0)	(1)	(1)	(6)
2021年	3	1		1		2	1	2	10
（内数）火災	(3)	(1)		(1)		(2)	(1)	(2)	(10)
2022年	1	2		1	1		1	2	8
（内数）火災	(1)	(0)		(1)	(0)		(0)	(1)	(3)
2023年	4	1	1		1				7
（内数）火災	(3)	(1)	(1)		(1)				(6)
2024年	3					2			5
（内数）火災	(3)					(2)			(5)
合計	12	4	3	3	2	5	3	5	37
（内数）火災	(11)	(2)	(3)	(3)	(1)	(4)	(2)	(4)	(30)

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故を含みます。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 調理家電の県別および被害状況別事故発生件数（2020～2024年）※2（単位：件）

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡								0
	重傷	2							2
	軽傷	1							1
物的被害	拡大被害	6	1	3	2	2		2	18
	製品破損	5			1	3	3	2	14
被害なし・不明	1							1	2
合計	12	4	3	3	2	5	3	5	37
合計（火災事故）	(11)	(2)	(3)	(3)	(1)	(4)	(2)	(4)	(30)

※2:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. 事故事例

(1) 調理家電の事例：2020 年 1 月（鹿児島県、年齢・性別不明、製品破損）

【事故の内容】

IHこんろから異臭がして異音がし、機器内部の一部が焼損した。

【事故の原因】

トッププレートにひび割れが生じ、販売店から使用禁止と言われていたが、そのまま使用を継続したため、ひびから浸入した煮汁等が内部基板に付着し、トラッキング現象が生じて基板が焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「トッププレートにひびが入ったり割れた場合は、電源と専用ブレーカーを切って使用を中止する。煮汁等が入り火災等の原因になる。」旨、記載されている。

(2) 調理家電の事例：2023 年 1 月（長崎県、20 歳代、男性、拡大被害）

【事故の内容】

IHこんろで調理中のフライパンから出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

市販のフライパンに少量の油（約100mL）を入れて揚げ物モードによる予熱を行ったため、油が過熱し発火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「専用の天ぷら鍋以外は絶対に使わない。油は500g（550mL）未満では調理しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 清水
電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329